

ねんど か ねんど かわり、またあら ひとねん ほじ 新たな一年が始まりました。

さくねんど しゅうそく め ど た なか みんな たの す 昨年度はコロナの収束の目処が立たない中、皆で楽しく過ごすことができたこととても嬉しくおもって  
います。

こんねんど よろ ねが いた 今年度もどうぞ宜しくお願い致します。

さて、今回は最近私が読み終えた小説をご紹介します。おも  
それは「同志少女よ、敵を撃て」です。

それは「同志少女よ、敵を撃て」です。

あいさかとう まし しっぴつ さくひん ねんだい だいにじせきたいせんじ どく せん ぶたい 逢坂冬馬氏が執筆をされたこの作品は1940年代の第二次世界大戦時の独ソ戦が舞台になっています。  
しゅじんこう それん しやうじよ りやうし むすめ むら く どいつへい かぞく むら 主人公であるソ連の少女セラフィマは獵師の娘として村で暮らしていましたが、ドイツ兵に家族や村  
のひとびと ころ 殺されてしまいます。自身も殺されそうになったときに駆けつけたソ連兵の上官イリーナに  
よっていのち すくわれる とともにすないばー そしつ みいだ ふくしゅうしん も 命を救われると共にスナイパーとしての素質を見出されたセラフィマは復讐心を燃やしながら  
くんれん へて せんち おもむ おはなし 訓練を経て戦地に赴いていく。というお話です。

いままいち しんこう なが 今毎日のようにロシアがウクライナに侵攻していくニュースがテレビで流れています。

そんなときにふきんしん おも そんなときだからこそ読んでもらいたいなと思っ  
ています。この作品では戦争の悲惨さや、亡くなった人々それぞれが誰かにとってのかけがえのない存在  
だったのだとおし 教えてくれます。そしてまいち あんしん わら す 自身の現状に幸せを  
かん 感じられると思います。いちにち たんたん す いちにち たいせつ じゅうじつ 一日を淡々と過ごすのではなく、一日を大切に充実したものにしていきたいで  
すね。

せかい へいわ 世界が平和でありますように。